

目 次

I . 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1 . 南紀熊野サテライトの紹介	1
2 . 2つの受講制度	2
3 . 受講モデル	4
II . 大学院科目等履修生の募集	5
1 . 出願および履修願の手続き	5
2 . 出願書類等	
㉞南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	7
㉟履歴書	8
㊱令和2年度前期検定料の納入について	9
㊲履修願	10
III . 学部開放授業受講者の募集	11
1 . 登録および申請の手続き	11
2 . 登録書類等	
㊳学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書	13
㊴学部開放授業聴講申請書	14
㊵令和2年度前期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について	15
㊶学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV . 令和2年度前期 南紀熊野サテライト開講授業	16
1 . 大学院授業科目	16
2 . 学部授業科目	20

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

- 1. 地域の知の拠点として
- 2. 大学の知的財産は地域資源
- 3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
- 4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・Uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

- 1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
- 2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
- 3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
- 4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「世界農業遺産」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」（※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」）があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。令和2年度前期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」をご利用ください。 詳細は和歌山大学ホームページをご覧ください。 http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 28,800円（1科目・2単位につき）	登録料 7,000円 聴講料 10,000円（1科目）
受講期間	入学後の連続する4学期（2年）間は履修申請が可能	登録後8学期（4年）の聴講申請が可能
修士課程への進学	社会人特別入試（南紀熊野サテライト）を経て、経済学研究科修士課程に進学することができます。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、金曜日夜間および土曜日の日中を中心に、Big・U(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、1科目につき2単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

【履修可能期間】

- 入学後の連続する4学期(2年)間は履修が可能です。この場合、所定の履修願による手続きが必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

- 本研究科修士課程社会人特別入試の出願資格を満たし、南紀熊野サテライト科目等履修生として1年以上在学の上、6科目12単位以上を取得すると、社会人特別入試(南紀熊野サテライト)に出願することができます。出願資格や入学試験などの詳細は、「社会人特別入試(南紀熊野サテライト)修士課程学生募集要項」をご覧ください。

○既修得単位認定制度

本学大学院経済学研究科修士課程の修了には30単位(専門研究・修士論文8単位を含む)が必要です。南紀熊野サテライトの科目等履修生が社会人特別入試(南紀熊野サテライト)を経て本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として修了に必要な単位数に算入できます。これにより、標準的には修了まで2年を要する修士課程を1年で修了し、修士(経済学)の学位を取得できます。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

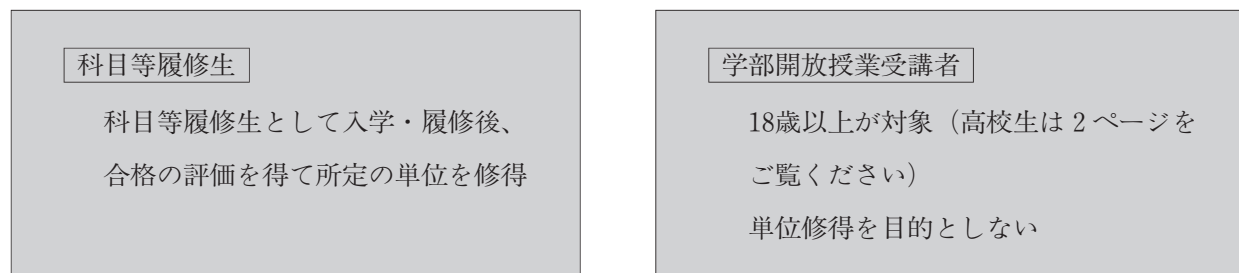
- 学部開放授業(教養科目)を土曜日の日中を中心にBig・U(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される学部開放授業についても、聴講申請のうえ、受講することができます。

【受講可能期間】

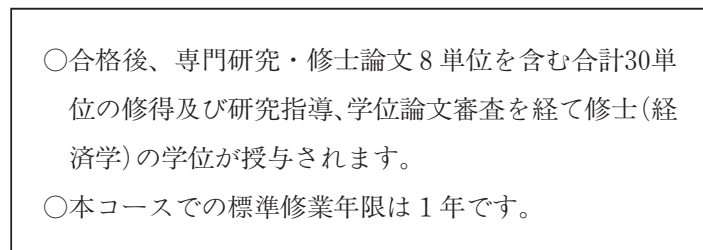
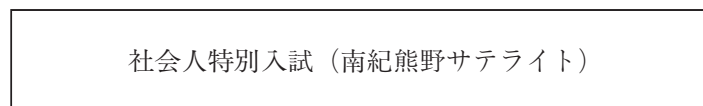
- 受講者登録の有効期間は4年間です。登録後の連続する8学期間は、科目ごとの聴講料のみで受講できます。

3. 受講モデル

①自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



②さらに大学院経済学研究科修士課程に進み、修士(経済学)の学位取得をめざす人



■大学院へのステップ

南紀熊野サテライトで大学院科目等履修生として単位を修得した受講生の中から、大学院修士課程に進学され、修士(経済学)の学位を取得された方がいらっしゃいます。



II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、16ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和2年2月14日(金)～2月28日(金)(必着)

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

【新規に出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角形2号封筒(100g以内)に簡易書留料金の規定分の切手を貼付し、出願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方(既に有効期限が切れている方)が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

【現在、科目等履修生である方】

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

- 「履修願」(用紙⑤)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

- 返信用封筒(結果通知用)

角形2号封筒(100g以内)に簡易書留料金の規定分の切手を貼付し、出願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

B. 有効期限が2020年3月31日の方

有効期限が2020年3月31日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本については、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和2年3月13日(金)～3月17日(火)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学科および授業料

入学科 10,000円

授業料 28,800円(1科目・2単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名 _____ ㊦

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科目名	単位数
<input type="checkbox"/>	現代の金融・証券市場	2
<input type="checkbox"/>	オトナのスポーツ老年学入門 ～生涯スポーツのプロモーションを考える～	2
<input type="checkbox"/>	データサイエンスのための統計学	2

(：該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和2年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女 [㊞]	写 真 欄 (3 × 4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -) TEL.() -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -) TEL.() - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月~

令和2年度前期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部支援室経済部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

令和2年度前期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和2年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
普通預金	0766935			
口座名	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

A 票 振込依頼書

令和2年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店 (普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	5	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	5,000円			
電信扱	円			
手数料	円			
手数料ご依頼人負担				

* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

取納印

(取扱店保存)

履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 _____

氏 名 _____ ㊦

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	現代の金融・証券市場	2
<input type="checkbox"/>	オトナのスポーツ老年学入門 ～生涯スポーツのプロモーションを考える～	2
<input type="checkbox"/>	データサイエンスのための統計学	2

(：該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2020年3月31日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限 (西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

Ⅲ．学部開放授業受講者の募集

1．登録および申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

「地域暮らしの法律学D」

(30名程度)……田辺市会場〈和歌山県立情報交流センターBig・u〉

「熊野郷土学2C ～郷土学からの地域振興～」

(30名程度)……新宮市会場〈新宮信用金庫5階会議室(新宮市大橋通3丁目1-4)〉

「地域づくりの理論と実践A」

(20名程度)……田辺市会場〈秋津野ガルテン(田辺市上秋津4558-8)〉

※お問い合わせは会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

登録および申請期間・方法

令和2年3月18日(水)～4月22日(水)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライトオフィス宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、4月22日(水)に限り、10時から17時まで受け付けます。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(3月18日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて登録される方 2. 登録の有効期限が2020年3月31日以前の方	2020年4月1日現在、登録有効期間中の方												
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書 (用紙㊸) <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・登録料 7,000円 ・聴講料 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>10,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊸の所定の位置に貼付してください。</p>	{	10,000円 (1科目の場合)		20,000円 (2科目の場合)		30,000円 (3科目の場合)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊹) <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・聴講料 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>10,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊹の所定の位置に貼付してください。</p>	{	10,000円 (1科目の場合)		20,000円 (2科目の場合)		30,000円 (3科目の場合)
{	10,000円 (1科目の場合)												
	20,000円 (2科目の場合)												
	30,000円 (3科目の場合)												
{	10,000円 (1科目の場合)												
	20,000円 (2科目の場合)												
	30,000円 (3科目の場合)												
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼付して、申請書類とともに提出してください。63円切手のないものは送付しません。 <u>※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</u> <u>※2019年10月より郵便料金が改訂されています。</u> ご注意ください。	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼付して、申請書類とともに提出してください。63円切手のないものは送付しません。 <u>※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</u> <u>※2019年10月より郵便料金が改訂されています。</u> ご注意ください。												

[参考] 登録料…聴講を希望する方は、学部開放授業受講者の登録(7,000円)が必要となります。

1回の登録で4年間(連続する8学期間)の聴講申請が可能です。

聴講料…授業料にかかわるものです。1科目につき10,000円です。

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(4月22日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig-U内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄
(3×4cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏名 _____ ㊦
生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日(男・女)
現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____
携帯電話番号 _____
E-mail _____

保護者(※申請者が未成年の場合に必要な)

氏名 _____ ㊦
申請者との続柄(_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、開放授業受講者の登録及び聴講を申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの法律学D
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学2C
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践A

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

1科目 17,000円
2科目 27,000円
3科目 37,000円

新規聴講者
振込金受付証明書
貼り付け欄

以下、大学記入欄

学生番号: _____
発行年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
有効期限: _____ 年 _____ 月 _____ 日

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏 名 _____ ㊦

生年月日(西暦) 19 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____

E-mail _____

保護者 (*申請者が未成年の場合に必要)

氏 名 _____ ㊦

申請者との続柄(_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの法律学D
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学2C
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践A

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意下さい。

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1科目 10,000円
 2科目 20,000円
 3科目 30,000円

登録期間中の聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

令和2年度前期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙②)での申請は登録料7,000円＋聴講料10,000円(1科目につき)の計17,000円(2科目の場合は計27,000円)となります。
更新受講申請者(用紙③)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)の計10,000円(2科目の場合は計20,000円)となります。

- ①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。
※ゆうちょ銀行からは振込みできません。
※ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。
※振込手数料は、依頼人負担となります。
- ②「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。
- ③「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。
- ④「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、登録料と聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

④

切り取って、金融機関にお出しくください。

C票 振込金受付証明書 令和2年度前期登録料・聴講料 (申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和2年度前期登録料・聴講料

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
受講者氏名				
振込手数料				円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

金融機関で切り離してください。

A票 振込依頼書

令和2年度前期登録料・聴講料

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	円
受取人	紀陽銀行	紀の川支店	(普)	0766935	金額	円
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				現金	
整理番号	69				内	
フリガナ					取	
受講者氏名					納	
住所					印	
電話番号 () -						

*金融機関へのお願い

1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

(取扱店保存)

IV. 令和2年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	現代の金融・証券市場 (Modern Financial and Securities Markets)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	築田 優 (ゲスト講師：吉弘 憲介、玉岡 真一、藤本 迪也)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回	4月11日(土) 10:30~16:00	担当：築田
	第2回	4月18日(土) 10:30~16:00	担当：築田 (ゲスト講師：吉弘憲介)
	第3回	4月25日(土) 10:30~16:00	担当：築田 (ゲスト講師：玉岡真一)
	第4回	5月16日(土) 10:30~16:00	担当：築田 (ゲスト講師：藤本迪也)
	第5回	6月13日(土) 10:30~16:00	担当：築田 (ゲスト講師：廣瀬克己)
【授業のねらい・概要】			
<p>本授業では、刻々と変化を続ける現代の金融・証券市場について、グローバルとローカルの両方の視点から学習します。リーマンショック、デリバティブ、地方創生、アベノミクスなどと、金融・証券市場がどう関連しているのかを学ぶことで、経済全体が見えてきます。また、公益機関や実業界からもゲストスピーカーを招き、最新の情報を提供していただきます。より効率的な学習効果が上がるよう、ゲストスピーカーと受講生のディスカッションの機会も設けています。</p>			
【授業計画】 授業は以下の構成に沿って進め、必要に応じて内容を追加します。			
<p>第1回 『リーマンショックを振り返る』 (担当：築田) 現在の世界の金融市場は、リーマンショックの後遺症を残しています。そこで、リーマンショックの原因と結果を再確認したいと思います。マイケルムーア監督『キャピタリズム―マネーは踊る―』を視聴し、その後に議論を行います。</p>			
<p>第2回 『日本を豊かにする地方創生と地域金融・地方財政』 (担当：築田、ゲスト：吉弘憲介(桃山学院大学)) 最初に地方創生政策と地域金融機関、また地方創生ファンドなどについて学習します。その後、桃山学院大学からゲストスピーカーを招き、地方創生と地域金融および地方財政についてお話しいただきます。具体的には、地域金融機関と地方中小企業との関連や、地方創生ファンド、またアメリカの事例などをお話しいただきます。</p>			
<p>第3回 『多様化した現代の資産取引：株式、投信、デリバティブ』 (担当：築田、ゲスト：玉岡真一(大阪取引所)) 最初に、現代の多様な資産運用手段や金融商品について学習をします。その後、大阪取引所からゲストスピーカーを招き、現代の資産取引についてお話しいただきます。特に、現代の金融・証券市場では大きな影響力を持つデリバティブについても、専門家ならではの知見を交えてお話をいただきます。</p>			
<p>第4回 『和歌山県の金融経済事情』 (担当：築田、ゲスト：藤本迪也(和歌山社会経済研究所)) 最初に、和歌山社会経済研究所からゲストスピーカーを招き、和歌山県経済事情について金融関係を中心にお話しいただきます。その後、ゲストスピーカーも交え和歌山県地域経済を中心しつつ、関西経済や日本経済を見つめ議論を行います。</p>			
<p>第5回 『「人生100年時代」の資産運用～豊かなセカンドライフを目指して～』 (担当：築田、ゲスト：廣瀬克己(野村證券)) 人生100年時代と言われるなか、年金財政の不安もあり個人資産形成は非常に重要な問題となっています。これについて、野村証券和歌山支店よりゲストスピーカーを招き、学習するとともにディスカッションを行います。</p>			
【到達目標】			
<p>本講義の到達目標は、過去・現在の金融・証券市場について理解を深め、将来に発生する経済イベントに自信を持って対応できるような金融リテラシーを獲得することです。</p>			
【教科書】			
<p>特に定めません。適宜、資料を配布します。</p>			
【参考書】 ※購入は必須ではありません。			
<p>証券経営研究会編『変貌する金融と証券業』(2018)、日本証券経済研究所</p>			
【成績評価方法】			
<p>議論への参加状況(50%)、最終レポート(50%)により総合的に評価します。</p>			
【授業時間外学修】			
<p>本授業では、金融市場、証券市場、資産運用、国内経済、地域経済など広い範囲を扱います。そのため、普段から金融関係の新聞記事やインターネット記事を意識して読むようにして下さい。また初歩的な金融論の知識は必要です。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>受講生にプレゼンテーションを行ってもらい、それをもとに議論を行うことを検討しています。積極的な議論への参加を期待します。また、ゲストスピーカーを招く講義は、順番の変更も有り得ます。その場合は事前にお伝えします。</p>			

授業科目名 (英文表記)	オトナのスポーツ老年学入門 ～生涯スポーツのプロモーションを考える～ (The Introduction for Sport Gerontology : Promoting the Lifelong Sport for the Aging Population)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	彦次 佳 (ゲスト講師：辰巳 信平、谷所 慶)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月19日(金) 18:30～20:50	担当：彦次 (ゲスト講師：辰巳信平、谷所 慶)	
	第2回 6月20日(土) 10:00～16:00	担当：彦次 (ゲスト講師：辰巳信平、谷所 慶)	
	第3回 7月17日(金) 18:30～20:50	担当：彦次	
	第4回 7月18日(土) 10:00～16:00	担当：彦次	
	第5回 8月7日(金) 18:30～20:50	担当：彦次	
	第6回 8月8日(土) 10:00～16:00	担当：彦次	
【授業のねらい・概要】			
<p>本講義では、年齢を重ねていく中でスポーツの楽しみ方を広げていく「スポーツ老年学」の仮説的命題を、①実際に全身で感じ、②論理的に学び、そしてそれらを③プロモーションするための方法や戦略について体得することを目的とする。そこで、第1回目と第2回目を使って、ゆったりとゆったりと楽しむレジャー・スポーツの旅にでる。実際にカヌートリップのフィールドワークを体験することにより、南紀熊野サテライト周辺の素晴らしい景観とそこでスポーツを楽しむ醍醐味についてじっくりと触れる。第3回目と4回目では、それらがオトナのスポーツの楽しみ方の中でどのような位置づけにあるのかをスポーツ老年学の視点から捉える。そして、第5回目と6回目では、それらを多くの人に楽しんでもらうためにはどのような事業を考え、どのように事業を進めていかなければならないかを、体系的に学習する。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回～第2回『オトナのスポーツライフ・フィールドワーク』 (担当：彦次、ゲスト：辰巳、谷所) 本講義のイニシャルプログラムとして、オトナになってからこそ味わいが深くなるオトナのスポーツの楽しみ方とプログラムを実際に体験する。シーカヤクトリップというレジャー・スポーツ体験を通して注1、南紀熊野サテライト周辺の自然の美しさと豊かさ、雄大さとその大切さを知り得るだけでなく、一般的にスポーツが持っている「早さ」や「強さ」といったイメージとは異なるスポーツの価値や楽しさを体感する。注1：荒天の際は日程を延期するなどの変更を行いません</p>			
<p>第3回～第4回『オトナのスポーツライフとプロモーション』 (担当：彦次) 健康づくり・体力づくりを主な活動目的とする運動・スポーツ実施(ヘルス・スポーツ)、余暇充足・趣味としての楽しさを満喫することを主な活動目的とするスポーツ実施(レジャー・スポーツ)、技を磨き競うというスポーツの本質的な楽しさに挑戦することを主な活動目的とするスポーツ実施(マスターズ・スポーツ)を紹介し、それらの基本的な知識と考え方を学習し、また、それらの活動によってどのような便益がもたらされるのかを学習する。</p>			
<p>第5回～第6回『生涯スポーツのプロモーション』 (担当：彦次) 第1回～第4回までで体得したオトナのスポーツの楽しみ方の実践と知識をプロモートするための方法論として、運動・スポーツ活動の推進事業を効果的に実施するための方略について学習する。世界中から集めた運動・スポーツ活動に関する事業の情報から、成功的事例に共通して重要視されている振興概念や推進指標を紹介し、オトナのスポーツ・プロモーションの方法について理解を深め、それらについて皆で議論を交わしていく。</p>			
【到達目標】			
<p>本講義の到達目標は、成人期以降の多様なスポーツの楽しみ方とスポーツ・プロモーションの方法論について理解を深めること、また、歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について議論することとする。</p>			
【教科書】			
<p>特に定めません。適宜、資料を配布します。</p>			
【参考書】			
<ul style="list-style-type: none"> ・『ジェロントロジースポーツー成熟人生を「好く」生きる人のためのスポーツライフ』 (長ヶ原 誠, ジェロントロジースポーツ研究所:2007) ・『生涯スポーツ実践論〈改訂4版〉』(川西 正志・野川 春夫 編著, 市村出版:2013) 			
【成績評価方法】			
<p>議論への参加状況(40%)、小レポート(30%)、最終レポート(30%)など総合的に評価します。(評価責任者：彦次)</p>			
【授業時間外学修】			
<p>本講義を通して普段何気なく見ているスポーツの現象などに対して、これまでより注意深く見る目を持ち、その現象がどのように発生しているのかなどを考えることを、本講義の時間外学習として位置付けます。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>第1回目の持ち物については、事前にアナウンス・相談を行なう。</p>			

授業科目名 (英文表記)	データサイエンスのための統計学 (Statistics for data science)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	大井 達雄		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回	5月23日(土)	10:30~16:00
	第2回	5月30日(土)	10:30~16:00
	第3回	6月27日(土)	10:30~16:00
	第4回	7月4日(土)	10:30~16:00
	第5回	7月11日(土)	10:30~16:00

【授業のねらい・概要】

ビジネスに限らず、さまざまな分野で統計的な思考力によって様々な課題を解決していく能力、すなわちデータサイエンス力の高い人材がもてられている。例えば、行政においても政策効果の測定に重要な証拠となる情報や統計などのデータを活用したエビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング(EBPM)が推進されている。このような流れはますます重視される傾向にある。本講義ではデータサイエンスの知識やスキルを習得するために、事例を交えながら、ビジネスや行政の現場で使用される実践的なデータ分析や統計分析の手法を習得することを目的としている。

【授業計画】

第1回 オリエンテーション、データサイエンスとは何か。

データサイエンスが必要とされる背景、データサイエンスに求められるスキルや知識

〔予習〕 データサイエンスに関する情報収集を行うこと

〔復習〕 データサイエンスが進むことによって、私たちの社会がどのようになるか将来を予測すること

第2回 e-Statを活用したデータ分析事例(1)

Excelの機能説明(四則計算、関数、グラフの作成、データベースなど)、国勢調査を使用した分析

〔予習〕 国勢調査について事前に調べておくこと

〔復習〕 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第3回 e-Statを活用したデータ分析事例(2)

家計調査を使用した分析

〔予習〕 家計調査について事前に調べておくこと

〔復習〕 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第4回 e-Statを活用したデータ分析事例(3)

経済センサスを使用した分析

〔予習〕 経済センサスについて事前に調べておくこと

〔復習〕 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第5回 統計GISによる分析(1)

地図で見る統計(jSTAT MAP)の機能説明、操作方法の解説

〔予習〕 GISについて事前に調べておくこと

〔復習〕 地図で見る統計(jSTAT MAP)の操作方法について確認すること

第6回 統計GISによる分析(2)

地図で見る統計(jSTAT MAP)を使用した活用事例の説明、演習の実施

〔予習〕 地図で見る統計(jSTAT MAP)で分析したいデータを探してこること

〔復習〕 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第7回 データ分析の基礎(1)

データの可視化、度数分布表・ヒストグラムの作成方法の解説

〔予習〕 Excelの機能(四則計算やグラフの作成など)について再度復習すること

〔復習〕 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第8回 データ分析の基礎(2)

代表値と散布度の活用、計算方法や結果の解釈の解説

〔予習〕 Excelの機能(四則計算やグラフの作成など)について再度復習すること

〔復習〕 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第9回 データ分析の基礎(3)

2つのデータの関係性の把握(クロス集計表、および散布図の作成)

[予習] Excelの機能(ピボットテーブル)について予習すること

[復習] 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第10回 データ分析の応用(1)

相関係数・単回帰分析の計算方法、ならびに結果の解釈の説明、活用事例の紹介

[予習] 散布図の内容について再度学習すること

[復習] 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第11回 データ分析の応用(2)

時系列データの内容や分析手法の解説、予測事例の紹介

[予習] 時系列データの概念について事前に調べておくこと

[復習] 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第12回 確率分布

確率、ベイズの定理、離散型・連続型変数、二項分布、正規分布(標準正規分布)の解説

[予習] 確率の概念について事前に調べておくこと

[復習] 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第13回 統計的推定

標本抽出、標本分布、大数の法則、中心極限定理、点推定、区間推定、信頼度の解説、計算方法の説明

[予習] 正規分布について再度復習すること

[復習] 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第14回 統計的仮説検定

帰無仮説、対立仮説、有意水準、片側・両側検定、第1種・第2種の過誤、計算方法の説明

[予習] 区間推定について再度復習すること

[復習] 授業で習った分析方法を別のデータを使用して確認すること

第15回 まとめ、最終課題の作成と提出

[予習] これまでの授業の内容を整理すること

[復習] 最終課題を完成させ、提出すること。

【到達目標】

データサイエンスの最近の動向を知り、同時にデータサイエンス社会に必要な能力をパソコンによる演習を通じて理解できることを目標としています。具体的には、データや統計の性質について説明することができること、データを統計的に記述することができること、ならびに推定および検定の考え方について説明することができることなどがあげられます。

【成績評価の方法】

各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。

【教科書】

特に指定しません。主としてファイル(PDFやExcel)を配布します。

【参考書・参考文献】

- ・大屋幸輔「コア・テキスト統計学 第2版」新世社
- ・生田目崇「マーケティングのための統計分析」オーム社
- ・山中馨, 天谷永, 望月雅光「EXCELで考える統計学」創成社

この他、授業中に適宜紹介する。

【履修上の注意・メッセージ】

授業では、その時間のトピックの説明に続けて、PCを使用して例題や練習問題を解きます。受講生の理解度を見ながら、授業の進度やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。また、PCの操作の習熟もかねて復習も必ず行うようにしてください。特に授業中に理解できなかった箇所については、何度も復習してください。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。

【履修をする上で必要な事項】

表計算ソフトMicrosoft Excelの基本的な操作ができることが必要です。また講義で使用しますので、Microsoft Excelがインストールされたパソコンを準備してください。

【授業時間外学修】

授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	地域暮らしの法律学D ～男と女の法律学～ (Legal Studies of community life D)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 5月9日(土) 13:00～17:00	④ 6月13日(土) 13:00～17:00	
	② 5月23日(土) 13:00～17:00	⑤ 6月20日(土) 13:00～17:00	
	③ 5月30日(土) 13:00～17:00	⑥ 6月27日(土) 13:00～17:00	
【授業のねらい・概要】			
<p>どのような地域に暮らすにしても、さまざまな問題が発生します。好むと好まざるとにかかわらず、法律と関わりを持たないことはないでしょう。地域で暮らすために法律の知識は不可欠だと思います。しかし、法律は自分とは関係のない存在であるかのように考えられがちで、さらに、暗くて近寄りたいたいというような悪いイメージさえ持たれることもあります。その原因として、法律用語の難解さ、法律学は無味乾燥であるというイメージ、法律解釈の理屈っぽさなどが考えられます。「地域暮らしの法律学」では、地域に存在する日常生活の種々の場面を具体的な例として取り上げて、可能な限り分かりやすく説明し、法律がどのように役に立っているか、そして、日常茶飯事でさえ法律抜きでは考えられないということなどを理解してもらうことを目標としています。その手段として、多くの映画やTV番組等を視聴してもらい、法律学の敷居の高さを少しでも低くする工夫を致します。「地域暮らしの法律学D」では、「男と女の法律学」をテーマとして、結婚と離婚を中心に講義する予定です。嘘か本当か判りませんが、離婚関係の書籍には、離婚には結婚の3倍ものエネルギーを必要とすると書かれています。一方で、現代では、「バツイチ・バツニは当たり前」という言葉も耳にします。そのため、結婚よりは離婚に重点を置いて講義する計画です。講義内容の説明においては和歌山家庭裁判所の家事調停委員をしていた経験を生かして受講生の皆さんの参考になるように努めるつもりです。</p>			
【授業計画】 ※あくまでも事前の計画であり、受講生の皆さんのご希望に添うように変更することも可能です。			
受講生の皆さんと相談の上、通常の90分授業では不可能な映画視聴を組み込みたいと思っています。			
第1回 ガイダンス			
受講生の皆さんと十分に話し合いをして授業計画を再検討し、順番の変更・講義内容の一新化も可能です。			
6回の講義で取り上げる予定のTVドラマ「慰謝料弁護士」や「離婚弁護士」などを紹介します。			
第2回 結婚や内縁に関する問題			
何回も再放送されています「離婚弁護士」等を視聴して、結婚の前後に発生する法律問題を考えてもらいます。			
第3回 離婚に関する問題 (特に不倫)			
不倫問題を取り上げた映画やドラマは非常に多いので、受講生の皆さんと相談の上、教材として取り上げる映画やドラマを決定したいと思います。第4回から第6回でも同様に致します。			
第4回 離婚に関する問題 (特に子供の親権を中心にしたと思います。)			
第5回 離婚に関する問題 (特に養育費を中心にしたと思います。)			
第6回 離婚に関する問題 (財産分与と慰謝料を中心にしたと思います。)			
【到達目標】			
バランス感覚を持って地域で生きていくことと、そのための法的スキルを獲得することの重要性を理解すること。			
【教科書】			
特に指定はしません。			
【参考書】			
講義時に適宜、紹介します。			
【成績評価方法】			
学部生のみ、出席しての質疑応答、授業態度やレポートなど総合的に評価します。			
【授業時間外学修】 (学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。)			
ネット・テレビ・新聞等で紹介される色々な家族問題について関心を持って目を通して下さい。			
【履修上の注意・メッセージ】			
基礎知識がなくても理解できるように授業を構成します。ただ、もしも可能であれば、各自でわかりやすい法学入門書などを読んで前理解を深めるようにしておいて下さい。			

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学 2 C ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study 2 C)			(新宮会場)
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義	
担当教員	此松 昌彦、出口 竜也、竹林 浩志、鈴木 裕範 (ゲスト講師：山田桂一郎、此松 武彦、今井ひろこ 他)			
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目	
実施日・時間	① 6月27日(土) 13:00～17:00	観光学部	竹林浩志 (ゲスト講師：交渉中)	
	② 7月4日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト講師：此松武彦)	
	③ 7月18日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト講師) 現地踏査	
	④ 8月1日(土) 13:00～17:00	鈴木裕範	(非常勤講師)	
	⑤ 8月29日(土) 13:00～17:00	観光学部	出口竜也 (ゲスト講師：今井ひろこ)	
	⑥ 9月5日(土) 13:00～17:00	観光学部	出口竜也 (ゲスト講師：山田桂一郎)	

【授業のねらい・概要】

「熊野郷土学 2 C」では、熊野郷土学で今まで学んだ自然、文化、歴史、民俗、経済史、災害史、地域経営という観点から価値のある地域の人々の暮らしを学んできた。それを活用して将来への可能性考えることをテーマにする。そのために他地域と比較しながら、自分たちの価値を深めるエコツーリズムをはじめ、地域資源を活用するジオパーク、郷土食の活用、また紀伊半島を訪れる外国人が増えてきたことから、宿・民泊が地域と地域外のコミュニティのハブ的な役割を持つようになってきている。それらを総合化して地域を経営することとは何かを学びます。学生、自治体職員、地域づくり関係者、観光商工関係者、地域ガイド、ジオパーク関係者、教育関係者、Uターン者など、幅広い分野からの受講を期待します。

【授業計画】※記載の講義順や内容は変更することもあります。

- 第1回 **ガイダンス・「郷土資源の価値と商品化のとりべき戦略とは」** 観光学部 竹林浩志
「地域ならではの商品と適正な価格とは」(ゲスト講師：交渉中)
- 第2回 **「インバウンドと地域コミュニティの入り口として、宿・民泊のこれからのスタイル」**
教育学部 此松昌彦 (ゲスト講師：此松武彦氏 インバウンドライター)
- 第3回 **現地踏査：南紀熊野ジオパークセンターの見学を予定**
「世界の中の南紀熊野、南紀熊野ジオパークからの地形・地質・風土」
教育学部 此松昌彦 (ゲスト講師：ジオパークセンター研究員)
- 第4回 **「暮らしの視点からの地域文化の再評価と創造」** 鈴木裕範 非常勤講師
地域のアイデンティティである地域文化の多くが、コミュニティの変容、暮らしが揺らぐ中で、喪失と忘却の危機に立っている。伝統的な暮らしが育んできた地域の物語を捉え直し継承することの意義と可能性を考える。
- 第5回 **「地域資源の価値をどう地域経営に活かすのか?」「Googleマップ情報の活用事例と今後」**
観光学部 出口竜也 (ゲスト講師：今井ひろこ氏)
- 第6回 **「エコツーリズムの視点で見る郷土の資源の商品化から地域経営を考える」**
観光学部 出口竜也 (ゲスト講師：山田桂一郎氏)

【到達目標】

紀伊半島の産業について考え、自らのことばで語るができる。またそれらの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。

【教科書】

特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

【参考書】

「観光立国の正体」藻谷浩介、山田桂一郎著 新潮新書
講義時に適宜、紹介します。(学部開放授業受講者用シラバスには記載されません。)

【成績評価方法】

出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学修】(学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)

紀伊半島の郷土や産業のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。
地域でどんなことが話題になっているのか整理しておいて下さい。復習と自主的な学習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】※記載の内容は変更することもあります。

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が地域の暮らしにどうつながるのか考えてみて下さい。

授業科目名 (英文表記)	地域づくりの理論と実践 A (Strategic regional/community management A)		
単位数	2 (学部生のみ) 【通年】	授業形態	講義、実習
担当教員	藤田 武弘、八島 雄士、岸上 光克、藤井 至、植田 淳子 (ゲスト講師：岡田 知弘、玉井 常貴、木村 則夫、有田昭一郎、原 拓生、平岡 和久、芝 翼、山本 淳子、関司 直也、木村三三男)		
実施場所	秋津野ガルテン (和歌山県田辺市上秋津4558-8)		
実施日・時間	下記「授業計画」のとおり	区分	学部開放科目
<p>【講義概要】 少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では“限界集落”が増加するなどの問題が起こっている。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっている。そして、農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められている。なかでも、都市農村交流における「鏡効果」の存在は、農山村再生の手法としても大いに注目を集めている。近年、総務省がふるさとの地域づくりを支える多様な担い手として提起した「関係人口(長期的な定住人口でも短期的な流動人口でもなく、当該地域や住民と多様に関わる者)」づくりは、まさにこのような交流を土台に拡がりをみせるものと考えられる。本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。</p> <p>【授業計画】(通年)〈前期期間：視座①②、後期期間：視座③④⑤〉 (土日開講)(土曜2 講義+日曜1 講義) 〈視座①：地域づくりの理論〉 5/9-10(土日) 【01】 地域づくりの経済学～地域内再投資力論から学ぶ～ (岡田知弘：京都橋大学) 13:00～14:30 【02】 地域づくりと合意形成～「秋津野塾」の経験に学ぶ～ (玉井常貴：㈱秋津野) 15:00～16:30 【03】 地域づくりとコミュニティビジネス (木村則夫：㈱秋津野) 9:00～10:30 〈視座②：地域づくりとマネージメント〉 7/11-12(土日) 【04】 地域経営の考え方 (八島雄士：和歌山大学) 13:00～14:30 【05】 地域運営組織の実態と課題 (有田昭一郎：島根県中山間地域研究センター) 15:00～16:30 【06】 地域経営と6次産業化 (原拓生：㈱きてら) 9:00～10:30 〈視座③：地域づくりと行政・農協の役割〉 10/3-4(土日) 【07】 協同組合の現代的価値 (岸上光克：和歌山大学) 13:00～14:30 【08】 農協青年部活動が目指すもの (芝翼：JA和歌山県青年部) 15:00～16:30 【09】 自治体戦略2040構想と地方自治 (平岡和久：立命館大学) 9:00～10:30 〈視座④：地域づくりと交流・連携〉 11/14-15(土日) 【10】 都市農村交流の新たな段階 (藤田武弘：和歌山大学) 13:00～14:30 【11】 交流・連携による地域コミュニティの再編 (藤井至：和歌山大学) 15:00～16:30 【12】 都市農村交流を支える女性たち (植田淳子：和歌山大学) 9:00～10:30 〈視座⑤：地域づくりと担い手育成〉 2021/1/30-31(土日) 【13】 農業後継者の現状と課題 (山本淳子：農研機構食農ビジネスセンター) 13:00～14:30 【14】 地域サポート人材の役割と課題 (関司直也：法政大学) 15:00～16:30 【15】 農業労働力の確保と地域づくり (木村三三男：鳥取県) 9:00～10:30</p>			
<p>【到達目標】 本学では「域学連携」の観点に基づく地域での多様な実践型教育・研究が行われている。本講義の受講者が、それら地域での実践的な学びを自ら深めていくことを期待したい。なお、本講義は江頭ホスピタリティ事業振興財団の「寄付講義」として開講されることから、受講者における地域での学びの質的变化やキャリア形成に与える影響等の教育効果の検証を行う予定である。</p>			
<p>【教科書・教材】 毎回レジュメ・資料を配布する。</p>			
<p>【参考書】 ○橋本卓爾・山田良治・藤田武弘・大西敏夫編『都市と農村－交流から協働へ－』日本経済評論社、2011年。 ○藻谷浩介・NHK広島取材班『里山資本主義』角川書店、2013年。 ○岸上光克『廃校利活用による農山村再生』JC総研ブックレット、筑波書房、2015年。 ○小田切徳美『農山村は消滅しない』岩波新書、2015年。 ○藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克編著『現代の食料・農業・農村を考える』ミネルヴァ書房、2018年。</p>			
<p>【授業時間外学修】 本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題に調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。</p>			
<p>【履修上の注意・メッセージ】 地域の再生は、一朝一夕に叶うものではない。常に「現場(実態社会)が先生」であるという謙虚さと熱意をもって、社会人などの多世代の人々とともに地域の悩みを共有しながら根気強く問題解決に取り組もうとする受講生を歓迎する。なお、週末の土曜日開催(土曜日2 講/日曜日1 講とまとめ)というスタイルの講義以外に、オプションで関連するフィールドワーク(現地視察や農家民泊・農作業研修など)が提供されるので、これにも積極的に参加してほしい。 ※記載の講義順や内容は変更することもあります。</p>			

〈気象警報発令時の授業の取扱いについて〉

田辺市・新宮市に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページ

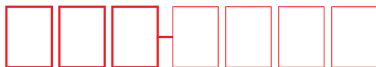
<http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>を参照してください。

〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

郵便はがき

ここに
63円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和2年度学部開放授業申請書類《前期》受付通知

- 【科目名】 地域暮らしの法律学D
 熊野郷土学2C
 地域づくりの理論と実践A

あなたの令和2年度前期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102
和歌山県立情報交流センター内
国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。